

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

苅田南 小	学校
-------	----

児童数	38
-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	13.25	18.25	30.58	42.08	42.27	8.97	142.92	19.25	52.50
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	15.00	16.71	44.50	37.43	28.57	9.42	131.14	10.08	51.40
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

今年度の結果として、体力合計点で男子は大阪市平均を上回ったものの、全国平均にはあと少し届かなかった。女子は大阪市、全国平均ともに少し届かなかった。

また運動に対する意欲は、質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答割合を見ると、男子は大阪市、全国平均以上の高数値だった。女子も好意的回答が8割以上と高かったが、若干大阪市、全国平均を下回った。

児童の1週間の総運動時間を調べると、男子は60分未満の児童が1人もおらず、平均時間も、大阪市、全国平均を300分ほど上回っていた。女子は60分未満の児童が全体の4割ほどいて、総運動時間の平均も大阪市、全国平均の半分程度だった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から、男女ともに20mシャトルランの結果に課題が見られた。学校として、これまでかけ足週間や、なわとび週間に取り組み、持久力の向上を図ってきたが、時期が2学期末や3学期と限定的な取り組みだったので、次年度からは1学期中にも持久力向上の取り組みを計画し、実施する。

また、児童が体育の授業以外で運動する時間を増やしていくことができるよう、運動する楽しさや喜びを体育の授業で伝えていくようにする。具体的には、体育主任を中心として、体育科の実技研修会を実施していくなど、教員の指導力向上を図っていくようにする。